

OTC総合感冒薬の包装も対象に

優れたデザインを評価・表彰

企業・団体と生活者の間で行われる情報コミュニケーションの伝達効率を高める研究を行い、双方の利益に貢献することを目指している一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会(UCDA、福田泰弘理事長)では、企業

「UCDA」が第3回アワード開催



福田理事長

「第三者」による客観的な評価

UCDA AWARD 2012

具体的には、▽研究・開発活動(UCDの評価指標の研究・開発、UCDに関するソフトウェアなどの研究・開発、情報のユーザビリティ評価など)▽広報・社会活動(UCDに関する講演会

やセミナー等の開催、UCDAアワードの開催など)▽認証・認定活動(デザインプロセスおよび成果物の認証、プロデューサー・デザイナー・評価員の育成や認定)▽受託事業活動(コミュニケーション改善のコンサルティング業務、デザインおよびマネジメントシステムの設計、UCD実現のためのコンテンツ開発等)——などがある。

UCDAは、ユーザーの生命・財産にかかわる

UCDが社会の安心・安全に貢献

UCDAでは、ユニバーサルコミュニケーションデザイン(UCD)、特に生活者の生命や財産に関わる重要な情報コミュニケーションにお

企業のコスト削減と顧客満足度向上に貢献

この結果を踏まえ、10年には「UCDAアワード2010」として開催し、生命保険会社21社が参加した。翌11年には、生命保険の総合通知に加え、新たに「インターネットサービス」、損害保険の「自動車保険証券」の評価を行っている。

福田理事長は、「アワードを実施して、保険会社各社が、総合通知という難しい内容にもかかわらず、分りやすく伝

えたいという努力や工夫を毎年行っているということが、実感としてよく分かった。ただ、第三者となる余地があることや、課題・問題点なども指摘させていた。その結果、回を追うごとに改善が進んでおり、われわれが意図したこと

情報の利用品質を向上させるために、コミュニケーションのデザインにおける「分りやすさ」を評価する第三者機関として、民間唯一の認証制度を運営している。UCDA認証には、UCDA認定評価員が評価を行い、認証委員会が審査・認証を行う「見やすいデザイン」がある。

また、広報・社会活動の一環として行われているのが、「UCDAアワード」である。UCDAでは、アワードに先立ち09年7月に「生命保険

の開発に努力、工夫を行っている。一方で、分りやすい表現に苦慮している面もあるようで、改善の余地はあるのではないかと考え、評価対象に加えていただきた」と語る。

また福田理事長は、「アワードへの参加を要請する際には、日本OTC医薬品協会に協力していただいた」と説明する。日本OTC医薬品協

UCDA認証取得が企業のコミュニケーション改善の目標となり、認証マークの表示がUCDの普及・啓発を推進して、社会の安心・安全に貢献することを目指している。アワードの目的は、この認証制度の普及にもある。

また、広報・社会活動の一助となることを目指して実施されたもので、この評価活動は生命保険会社だけでなく、損害保険会社や金融関連団体からも大きな反響があったという。

今回のOTC医薬品の商品パッケージ部門では、総合感冒薬の商品パッケージ(外箱)が対象となっている。この評価対象物(1点につき15個)とエントリーシートを提出する。エントリーおよび評価対象物の受付は今年2月9日まで、エントリー費用は一点につき5万円。

福田理事長は、「初めてOTC医薬品を対象としたことで、大きな期待を持って進めている」と思っている。まずは総合感冒薬のパッケージから始め、今後は展開も広がっていくと思う」と強調。今後の展開として、商品パッケージ(外箱)に加え、添付文書も対象になる可能性があるとの考えも示した。

花粉症に悩む人たちに、花粉症情報サイト「アレルギー(Allergy.jp)」を展開するサノフィ・アベンティス(東京新宿区)は、新たに「リアルタイム花粉レポート」という種類のサービスを、このほど追加した。

「アレルギー」は、花粉症やアレルギーを有する患者のための情報提供サイトとして、2004年5月から始めた「サノフィ」(http://www.allergy.jp)。新たなコ

もう一つの「病院検索サービス」は、同サイト内の「お医者さんに相談しよう」のコーナーの新コンテンツとして、病院で治療するメリットや治療の流れを紹介する。さらに、実際に近隣の治療施設を紹介する「病院を探そう」というサービスも開始した。これら

は、総合医療情報サイト「QLife(キューライフ)」とのリンクによるもので、全国17万カ所の医療施設から、花粉症を治療できる最寄りの医療施設が検索できる。

会社 総合通知 ユーザビリティ評価)を行って、セルフメディケーションも進展し、ひいては業界の活性化にもつながっていくのではないかと、この意見があったという。

福田理事長は、「今回初めてOTC医薬品を対象としたことで、大きな期待を持って進めている」と思っている。まずは総合感冒薬のパッケージから始め、今後は展開も広がっていくと思う」と強調。今後の展開として、商品パッケージ(外箱)に加え、添付文書も対象になる可能性があるとの考えも示した。

福田理事長は、「今回初めてOTC医薬品を対象としたことで、大きな期待を持って進めている」と思っている。まずは総合感冒薬のパッケージから始め、今後は展開も広がっていくと思う」と強調。今後の展開として、商品パッケージ(外箱)に加え、添付文書も対象になる可能性があるとの考えも示した。

「第三者」による客観的な評価

エントリー受付中

UCDA AWARD 2012

OTC医薬品

- 生命保険
- 損害保険
- 投資信託

詳しくはホームページで <http://www.ucda.jp> UCDA 検索

医薬品承認申請ガイドブック2011-12

編集:財団法人 日本薬剤師研修センター
B5判・498頁 定価 4,830円(税込)

2011年6月に行われた「第17回医薬品承認申請実務担当者研修会」の講演内容をもとに、医薬品医療機器総合機構が行う審査等業務の流れや承認申請の状況についての詳細をわかりやすく解説。また、承認申請の状況についての詳細な解説が加わった。

今版では、円滑な業務運営のため、今年度から開始した新たなプロジェクトの紹介や、医療用後発医薬品および一般用医薬品に係る申請時の留意事項等、また、局方改正による申請等の取扱いについて解説。

薬事申請実務担当者必携!!